

学番58 新潟県立十日町高等学校（全日制課程）
平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
地理歴史	世界史B	普通科・1年	4
教科書	[主たる教材] 詳説世界史B（山川出版社）		
副教材等	[副教材] グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社）		

1 科目の目標

世界の歴史展開、文化圏の形成を学び、現代世界の歴史的背景を考察させるとともに、国際社会に生きる日本人としての資質を養う。

2 科目の内容

- (1) 大まかな歴史の流れを理解させ、歴史的思考力を身につけさせる。
- (2) 基本的歴史事項・内容の定着をはかる。
- (3) 日本の歴史上の事象に関し、その世界史的背景を理解させる。

3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
4月 5月	第1章 オリエントと地中海世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明 第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 ○1学期中間考査	25	知識の羅列にならずに、現在の状況へのつながりを意識させる。 各時代の特徴をつかめるように配慮する。 現代の常識とされていることが歴史上では必ずしもあてはまらないことを知る。
5月 7月	第4章 イスラーム世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の発展 ○1学期期末考査	30	
7月 10月	第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の発展 ○2学期中間考査	25	

10月 12月	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展 第12章 アジア諸地域の動揺 ○2学期期末考査	30	政治・外交・その国の文化などを通して民族意識の高まりなども感じ取れるようにする。 当時の日本の様子を意識させる。
12月	第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦 ○3学期中間考査	15	
3月	第15章 冷戦と第三世界の独立 第16章 現在の世界 ○学年末考査	15	

計 140時間（55分授業）

4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の観点・規準	世界の歴史的な流れに関心や探究心を持ち、意欲的に取りくむ態度が身についている。	学習した内容をもとに、現代社会の諸問題を多角的に考察し、適切に表現することができる。	図表などの諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。	授業等を通して、世界史の基本的な事項やその背景を時間的・空間的に理解している。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントや課題等の提出物の内容 定期考査 ワークシートの内容 授業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントや課題等の提出物の内容 ワークシートの内容 授業への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントや課題等の提出物の内容 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントや課題等の提出物の内容 定期考査 授業への取り組み

5 担当教諭

地歴科教諭

6 担当者からのメッセージ

今日の世界は、ボーダーレス化が進み、国境を越えてたくさんの人や物が行き来しています。日本国内の政治や経済も、国際社会と切り離して考えることはできません。皆さんがこれから生きる社会は、今まで以上に外国人と当たり前のように会話し、生活することになるでしょう。外国人と交流するにはお互いのことをよく知ることが必要になります。その対象が互いに持つその国の歴史であり、宗教であり、文化です。私たちと外国人が理解し合うための前提としてぜひ、積極的に世界史を学んでほしいと思います。そして日本のこれからの考えるための材料にしてください。